

三條別院のご案内

三條別院に想う

この度ご縁を頂いて寄稿することになりました。私はこの機会に少々違った視点から書いてみたいと思います。

教区教化委員会から分離する形で、別院教化審議会が発足し、それまで教区通信の中でお知らせ的にあつたものが、「三條別院のご案内」として独自性を持った紙面となり、そこに「三條別院に想う」が連載されるようになったと聞いています。それから六年、合併号があつたとしても約七十人の方の寄稿があつたことになりました。

二〇〇九年一月から始められた「三條別院に想う」に多くの方が執筆されたものを改めて読ませていただきました。そこには別院に寄せられた様々な思いが垣間見られ、感慨深いものがありました。同時にそれが執筆者ご自身の経験や感話が多く、あまり教区全体から見られる別院の存在の意義や関わり方にふれるものがやや少ないように見えました。

さて、別院の教化事業の立場から見ると折角のご案内が三條教区通信を受け取っているもののみとなり、その時点でとどまっているならば傘下の全門徒に伝えられる部分が非常に少ない

真宗大谷派 三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

のではないかと、別院の情報が届かないことによる損失はきわめて大きいものがあるのではないかと、そんなことを考えています。

それはともかく、別院と一般門徒の間には手次寺があるのですから、別院があることすら知らない人達のために、なんとか力を出してもらいたいものです。別院における報恩講や別院奉仕研修、団体参拝など取り組むべきものはいくつでもあります。

いよいよ「親鸞さんにあおう」という呼びかけのもとに、七五〇回御遠忌法要が勤まります。これを勝機として、一人でも多くの人の参詣が実現し、別院が「門前雀羅」でなく「門前市を成す」という姿になるよう願ってやみません。

第十三組西方寺門徒 佐藤 健氏



○次回の「三條別院に想う」は、

林 桂子氏 (第十八組勝念寺) より

ご執筆いただきます。

■春彼岸チャリティーバザー物品募集のご案内

当別院で、三月二十二日(日)～二十四日(火)、二昼夜法要にて春彼岸会を勤修いたします(詳細については、次号のご案内いたします)。

本年も春彼岸会期間中、三月二十二日(日)

にチャリティーバザーを行いますので、提供いただける物品を募集しております。

◇物品 乾麺、缶詰、お茶、海苔、保存がきく

食品及び菓子等、食器、タオル、シ

ーツ等

◇子ども服 小学生くらいまでの物

※損傷のないものに限ります。

◇三月十六日(月)までに当別院までお届けください。また、お届けいただくのが困難な方、上記以外の物品のご提供にしましては当別院までご相談ください。

◇その他 被災地に届けるお米、飲料水も募集しています。



■別院子ども奉仕団のご案内

三條別院では毎年、お釈迦様の誕生日(四月八日 花まつり)、親鸞聖人の誕生日(四月一日)にあわせて、子ども奉仕団・お誕生法要を毎年開催させていただいております。本年は、五月に厳修される御遠忌法要の記念事業である子ども御遠忌期間中の一泊奉仕団になります。子ども御遠忌については、『教区通信』巻頭の「御遠忌実行委員会

「お知らせ」をご覧ください。

◇開催日 四月四日(土)～五日(日)

◇対象 小学校新三年生～六年生

※現在小学二年生～五年生の方

◇会場 三条別院

◇集合場所 教区同朋会館(三条別院内)

◇締切 三月十日(火)必着

◇定員 四十名

(その他二十名東日本大震災被災地からの招待)

◇参加費 四〇〇〇円

詳細は案内チラシを参照ください。

■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。また、今月は「年頭会」と兼ねるため、座談会をお休みさせていただきますので、ご了承下さい。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【二月二十八日(土)】

午前十時 お勤め(御命日) 日中法要

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

池守 章(三条別院輪番)

◇今後の講師一覧

三月 本多 智之 氏(第十八組 永傳寺)

四月 小柳 円晃 氏(第十九組 明願寺)

五月 渡邊 智龍 氏(第十八組 恩長寺)

六月 田中 博之 氏(第十三組 万休寺)

■定例法話会のご案内

毎月十三日の前門首の御命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師

二月～四月

大藤 赳磨 氏(第十組 勝願寺)

五月～七月

小林 智光 氏(第十二組 淨照寺)

◆二月からは三条真宗学院の仏教学講師の大藤氏に、仏教史・真宗史を中心に全三回でお話をいただきます。越後の真宗史にも言及していただく予定です。

◆五月からは小林氏に「源氏物語と仏教」日本文学と仏教」という内容でお話しいただきます。

その他の講座案内

○別院声明教室(全五回)

〔月一回水曜日、午後六時～八時〕

①一月十八日②三月十八日③四月十五日

④五月十三日⑤六月十七日

講習内容 正信偈 草四句目下

講師 真島修智 氏(第十六組 光得寺)

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

〔月一回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威 氏(新潟県書道協会理事)

月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)

随時募集中

○三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、開法会を開催しませんか?

○別院奉仕研修

日程及び内容についてご相談ください。

◎冥加金 日帰り一、五〇〇円、一泊二日二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一、〇〇〇円程度

・夕食代 一、三〇〇円程度

○別院特別参拝

皆様の御懇念により御修復が完了した本堂・諸殿をご案内いたします。

◎日程

・勤行(修復の完了した本堂にて同朋唱和)

・三条別院の歴史について



・宗祖御遠忌法要概要説明

・諸殿拝観（修復箇所を中心に説明いたします）

本堂・旧御堂・書院・同朋会館・駒札

◎冥加金 金額は定めておりません。

◎その他 お土産に「越佐の国三条別院なむの里」をお求めの場合、事前にご連絡ください。

○三条別院有志の会

清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。参加希望は別院まで。

同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後シートクリーニング代五〇〇円とシートを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。



三条別院「列座」（式務員）募集

下記の通り列座を募集いたします。なお、詳細につきましては、別紙募集要項をご参照ください。

- 一、募集人数 若干人
- 二、勤務先 真宗大谷派三条別院
- 三、勤務 七時から十六時まで。但し、土曜日、日曜日及び祝日の勤務あり。
- 四、業務内容 三条別院における仏祖の崇敬、給仕及びその他儀式のために必要な業務。儀式及び三条別院の守護並びに参詣者の応接、案内、教化に関する業務。
- 五、応募資格 ①年齢二十歳以上三十五歳まで（ただし、二〇一五年四月一日現在）の高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者。②真宗大谷派教師であるもの。
- 六、応募必要書類 ①履歴書・自己紹介書（自筆のこと）②最終学校卒業証明書又は卒業見込証明書及び同成績証明書③住民票（住民票記載事項証明書）④健康診断書⑤写真（上半身で三ヶ月以内に撮影の物を履歴書に添付のこと）
- 七、応募書類提出期間及び提出先 ①提出期間 二〇一五年一月二十六日（月）～二月二十七日（金）②提出先 真宗大谷派三条別院※書類は直接持参もしくは書留郵便（簡易書留可）にて期間内に必着のこと。
- 八、採用試験日時・会場 応募書類受付後、当方からご連絡します。会場については、三条会場及び京都会場のご二会場を予定しています。

◆◆編集後記◆◆

先日、三回目の讃仰講演会が開催され、祖父江佳乃氏にご出向いただいて、節談説教に遇わせていただいた。その生き生きとした声と強弱緩急を巧みにつかったお話にどンドン引き込まれていき、もつとお聞きしたいと思う間に終了時刻となってしまうた。

今回の講演会の様子を試験的にインターネット配信も行った。本山での御遠忌の際に、別院を空けることのできない私たちは、画面上とはいえ御遠忌の法要に遇えることを大いに喜んだのだが、その反面「配信しているなら家でもいい」という言葉を聞くとジレンマに悩まされる。沢山の方に法に遇う機会を届けたい。が、会所にも集まってもらいたい。

参加が難しいときは配信で。しかし一人より、皆で一緒に聞法したいと思います。（松浦）



【200人を超える参詣者が集まった】